



中宮まふね保育園



7月の東だより

2024年6月28日発行

この間は、お仕事が忙しい中の「保育参加」どうもありがとうございました！保護者の方々と一緒に楽しそうに過ごしている子ども達の笑顔はとても輝いていましたね♪

夏が近づくこの季節。蒸し暑い日が続きますが、子ども達は汗をいっぱいかきながらも夢中になって毎日元気に遊んでいます。

梅雨ならではの泥んこあそび・感触遊び等、また室内遊びの工夫をして楽しんでいますよ！

玄関前や各クラスには子ども達が一生懸命作った七夕飾りが風になびいて綺麗ですね。短冊に込めたみんなの願い事がどうか叶いますように…

また、6月8日(土)「兵庫県特別保健育児・災険の森」実施の際には、家庭保育の二部

また、6月8日（土）「5歳児特別保育・冒険の森」実施の際には、家庭保育のこ協力ををしていただき、どうもありがとうございました。廊下に貼り出した「冒険の森」壁新聞も、廊下を歩きながら皆さんのが興味深そうに読んで下さっていたり、子ども達と楽しそうに見て下さっているのを、とても嬉しく思いました。

これからも、保育園で過ごす子ども達の生活が楽しいものとなるよう、職員一同努力して参ります！どうぞよろしくお願ひします。

園長 山本眞理子



本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて
福祉サービスを必要とするすべての人に仕え
　日常を支援し 常に人々の人権を護り
　その人の尊厳を尊重します

《保育園がめざす子ども像》
で考え意欲を持って行動する子ども
手を思いやることのできる子ども
健康で生き生きと遊べる子ども
感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

☆苦情解決委員会☆

- ◎苦情解決責任者 山本 真理子
- ◎苦情解決窓口担当 山本 真理子
- ◎苦情解決第三者委員 畑 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子

※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関係するご相談も隨時受け付けております。

子どもたちは生まれた時から、隣に誰かがいる環境で育っています。自分一人だけで生まれて来る赤ちゃんはいません。ですから、人間は生まれた瞬間から、他者と共に生きる存在なのだと言うことができるかもしれません。園では子どもたちは、お友だちとの関わり合いを通して、自分がされて嬉しいことや嫌なことを学んだり、また他者に何かをすることで相手が喜んでくれるという経験をしたりしていきます。子どもたちは常に全力ですので、時にはお互いの気持ちがぶつかってケンカにもなりますが、それでもまた何かの拍子に「ごめんね」「いいよ」と仲直りして、すぐに一緒に遊び出す姿も見られます。そんな姿からは、むしろ大人の方が学ばせてもらうことが多いかもしれません。

他者と共に生きるために、どのようにしたら周りの人とよい関係を築けるか。聖書は「隣人を自分のように大切にしなさい（愛しなさい）」と語っています。別の言葉では「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」（マタイ7：12）とも言われています。これらの言葉の背景にあるのは、全ての人が大切な存在だという考え方です。日本語にも「情けは人の為ならず、巡り巡って返ってくる」ということわざがあります。「自分さえ良ければ」というような考え方ではなく、周りの人とのよい関係を築くことで、みんなにとって過ごしやすい社会が作られていくのだと思います。

チャプレン・牛田

弁護士による無料法律相談
7月24日(水) 16時～18時
※要予約 プライバシー厳守
相続・遺言・交通事故・DV・親権・
賃権回収・借金・サラ金・労働問題・
刑事事件等、法律に関係することで
お悩みの方、お気軽にご連絡、ご相
談ください。